

## 教科書完全マスターシリーズ

単語力・熟語力を飛躍的に up させたい諸君の強～い味方

教科書の予習・復習にぴったり！！

# 英単語・熟語無双

< 中学 2 年 >

英単語は、元の意味・最も使い道の広い意味を1つか2つ知っていればOK！

英熟語は、それぞれの単語の意味を元に、「熟語としての意味がどのように生まれたのか」を理解すればOK！



考える学習をすすめる会

あさひ学習自由区 塾長 石田 和彦 著

考える学習をすすめる会

<http://kangaeru.org>

## は・じ・め・に

本書の目的はズバリ、**重要な単語・熟語を完全にマスターすること**ですが、丸暗記を前提とした市販の単語・熟語集とは次の点で大きく異なります。

単語については、教科書本文中の「せまい意味」にとらわれず、その単語**オリジナルの意味・最も使い道の広い意味**を重視しました。

そのため、単語の意味を**1つか2つ**に絞ってあります。

熟語は、「**なぜ『熟語としての意味』が生まれたのか**」を知ってもらうことを重視しました。

セット扱いする前の**単語1つ1つの意味にバラした解説**を、すべての熟語に載せてあります。

2種類(以上)の品詞として用いられる語は、**本文で登場する以外の品詞**もできるだけ語例を収録しました。

よく似た意味の単語は、**用法の違い**をくわしく解説しました。

では、次のページで、「**なぜ、単語の意味を絞ったのか?**」「**なぜ、熟語をバラしたのか?**」をご説明します。本テキストが、**単なる単語・熟語リスト**だと思われたくないのもので...

たとえば、動詞 have。辞書には **10 通り以上の「意味」**が載っており、教科書などでも**場面によって意味を使い分ける**のがフツーです。

ところが...

このテキストには、have の意味として「**持っている**、**持つ**」の**2つしか載っていません**。**これだけで十分だから**です！ どーゆーことかと言うと、

I **have** a sister.      You **have** a cat.  
私は **持っている** 1人の 姉妹を。      あなたは **持っている** 1つの ネコを。

We **had** a good time last Sunday.  
私たちは **持った** 1つの よい 時間を この前の 日曜日。

どうです？ ~ の英文、チョット考えれば、**これだけで文全体の意味は分かる**でしょ？

ふつうは、「**~がいる**」、「**飼っている**」、は have a good time を熟語にして「**楽しいときを過ごす**」などと意味を使い分けます。

すると、ここままで、**余計なことを3つも覚えなければ**なりません。この調子で単語の意味を**やく**し分けていったら、キミたちを待っているのは...






そう、**丸暗記地獄**。これじゃあ、英語の学習が楽しくなくなりますよね。

**覚えることは、なるべく少ない方がいい！**

だから、**やくご**の数を極端に減らし、熟語さえ「**単語の意味だけで理解してしまおう**」という考えに徹しました。

予習・復習のパートナーとして、このテキストを繰り返して**じゅくどく**すれば、キミも**英単語・熟語の達人**になれます！

## 本テキストの構成

<p> <b>program</b> [próugræm] </p> <p>p · ro · g · ra · m プ · ロウ · グ · ラ · ム </p>	<p> <b>プログラム</b> (名詞) </p> <p><b>組み上げたもの</b>がオリジナルの意味。 場面によって、「予定」だったり、「計画」だったりする。</p> <p>教科書には「事業」などがあるが、決してこのように覚えてはイケナイ！！ 辞書にもこんな意味は載っていないぞ！</p>
--	---

**スペル** (中1用のみ、教科書とほぼ同じ書体しよたいになっています)

**発音記号** (アメリカ英語を標準としました。辞書などで調べて、発音記号ししよを読めるようにしよう)

**発音とスペルの関係** (辞書に載っている「音節」おんせつとは異なります)

**意味** (その単語**オリジナルの意味**、**最も使い道の広い意味**を精選せいせんしてあります)

**品詞** (それぞれの品詞については、参考書などで確認してください)

解説部分は、

**青字**はくわしい解説、**赤字**は**注意すべき事柄**ことがら (時々、教科書などに見られるフツの説明への批判ひはん) です。

## A・a

<b>abroad</b> [əbrɔ:d]	a・b・roa・d ア・ブ・ロー・ドゥ	外国に・へ（副詞）
<b>accident</b> [æksɪdənt]	a・c・ci・de・n・t ア・ク・スイ・ダ・ン・トゥ	事故（名詞）
<b>advertise</b> [ædvɜ:taɪz]	a・d・ver・ti・ze ア・ドゥ・ヴァ(ア)・タイ・ズ	宣伝する（動詞）
<b>again</b> [əgeɪn]	a・gai・n ア・ゲ・ン	再び（副詞）
<b>against</b> ~ [əgeɪnst]	a・gai・n・s・t ア・ゲ・ン・ス・トゥ	~に <b>反対</b> して（前置詞）
<b>ago</b> [əɡəʊ]	a・go ア・ゴウ	...前に（副詞）
<b>agree</b> [əgrɪ:]	a・g・ree ア・グ・リー	同意する（動詞）
<b>air</b> [eə]	air エア(ア)	空気，空中（名詞）

<p><b><i>all over ~</i></b></p> <p>all over ~ すべて ~を越えて</p>	<p>「~のいたるところで・に」</p> <p>over の後にくる「~」という枠組<sup>わくぐみ</sup>を越えた, すべてのところで。 all over the world で「世界中で・の」</p>
<p><b>almost</b> [ɔ:lmo:st]</p> <p>a · l · mo · s · t オー · ー · モウ · ス · トウ</p>	<p>ほとんど (副詞)</p> <p>肯定文で使う。</p>
<p><b>alone</b>            a · lo · ne [ə'ləʊn]            ア · ー · ー · ウ · ン</p>	<p>たった一人の (形容詞)</p> <p>たった一人で (副詞) もアリ</p>
<p><b>also</b>                a · l · so [ɔ:lso:u]            オー · ー · ソウ</p>	<p>...もまた (副詞)</p>
<p><b>always</b>            a · l · way · s [ɔ:lweiz]            オー · ー · ウェイ · ズ</p>	<p>いつも (副詞)</p>

<p><b><i>and so on</i></b></p> <p>and so on そして そのように 続いて</p>	<p>「など」</p> <p>and so on の前に具体例をいくつか並べ, 「そして, そのように続いていく」としたものだ。ここでの on は, 11 ページ come on の「on」と同じ。 「他にも例はあるけど, これ以上書かなくても分かるだろうから省略するよ」といったニュアンス。</p>
---	--

<p><b>another</b> [ənʌðər]</p>	<p>a · no · ther ア・ナ・ザ(ア)</p>	<p>もう1つの(形容詞) もう1つのモノ(代名詞)もアリ</p>
<p><b>answer</b> [ænsər]</p>	<p>a · n · swer ア・ン・サ(ア)</p>	<p>答える(動詞) 答え(名詞)もアリ</p>
<p><b>anyone</b> [éniwʌn]</p>	<p>a · ny · o · ne エ・ニ・ワ・ン</p>	<p>[疑問文中で]だれか(代名詞) [否定文中で]だれも(~ない) [肯定文中で]だれでも</p>
<p><b>anything</b> [éniθiŋ]</p>	<p>a · ny · thi · ng エ・ニ・スイ・ング</p>	<p>[疑問文中で]何か(代名詞) [否定文中で]何も(~ない) [肯定文中で]何でも</p>
<p><b>anywhere</b> [énihweər]</p> <p>a · ny · where エ・ニ・(フ)ウェア(ア)</p>		<p>[疑問文中で]どこか<sup>で</sup> [否定文中で]どこ<sup>で</sup>も(~ない) (副詞)</p>
<p><b>area</b> [éəriə]</p>	<p>a · rea エア・リア</p>	<p>地域, 区域(名詞)</p>
<p><b>arm</b> [ɑ:rm]</p>	<p>ar · m ア- (ア) ・ ム</p>	<p>腕(名詞)</p>
<p><b>as</b> ~ [æz]</p> <p>a · s ア・ズ</p>	<p>同じくらい~(前置詞) ~として(前置詞)もアリ ~のように, ~のとき, ~なので (接続詞)もアリ</p>	

**as の解説**

as は、右のように、**2つの物事が、並んで同時・同様に進行している様子**をイメージしよう。


- ・進み方や程度がほぼ同じなら、「同じくらい」(副詞)
- ・一方が他方の見本のようになっているときは、「～として」(前置詞)
- ・同時進行そのものを指すときは「～のとき、～しながら」(接続詞)
- ・同様に進行していることそのものにウェイトを置くときは「～のように」(接続詞)
- ・一方が他方の理由として進行しているときは「～なので」(接続詞)


となるけど、チョット難しかったかな？

<p><b>Asia</b> [éiʒə]</p> <p>A・sia エイ・ジャ</p>	<p><b>アジア</b> (名詞)</p>
<p><b>ask</b> [æsk]</p> <p>a・s・k ア・ス・ク</p>	<p><b>たずねる, たのむ</b> (動詞)</p>
<p><i>ask ... for ~</i></p> <p>ask ... for ~ 頼む ... に ~のために</p>	<p>「...に~を要求する」</p> <p>単語の意味は✓とあり。「~のために(~を求めて), ... に依頼する」が元の意味。</p>



## B・b

<b>baby</b> [béibi]	<b>ba・by</b> ベイ・ビ <b>赤ん坊</b> (名詞) 
<b>bad</b> [bæd]	<b>ba・d</b> バ(ッ)・ドゥ <b>悪い</b> (形容詞)
<p><i>That's too bad.</i></p> <p>That's too bad.          そ(あ)れは'です あまりにも 悪い。</p>	<p>「それはいけませんね」</p> <p>相手に「悪いできごと」が起こったときに言う、「お気の毒ですね」という感じのセリフ。</p> <p>「残念だ」はチョット変。</p>
<b>beach</b> [bi:tʃ]	<b>bea・ch</b> ビー・チュ <b>浜, 海辺</b> (名詞)
<b>became</b> [bikéim]	<b>be・ca・me</b> ビ・ケイ・ム <b>become の過去形</b> (動詞) ~になった
<b>because</b> [bikó:z]	<b>be・cau・se</b> ビ・コーズ <b>(なぜならば)~だから</b> (接続詞)
<b>become</b> [bikám]	<b>be・co・me</b> ビ・カ・ム <b>~になる</b> (動詞)

<b>began</b> [bigæn]	be · ga · n ビ・ゲァ・ン	<b>begin の過去形 (動詞)</b> 始めた・始まった
<b>begin</b> [bigin]	be · gi · n ビ・ギン	<b>始める・始まる (動詞)</b>
<b>believe</b> [bilí:v]	be · lie · ve ビ・リー・ヴ	<b>信じる (動詞)</b>
<b>best</b> [best]	be · s · t ベ・ス・トゥ	<b>good の最上級 (形容詞)</b> 最もよい, 最も上手な  <b>well の最上級 (副詞)</b> 最もよく, 最も上手に
<b>better</b> [bétər]	be · tter ベ・タ(ァ)	<b>good の比較級 (形容詞)</b> よりよい, より上手な  <b>well の比較級 (副詞)</b> よりよく, より上手に
<b>black</b> [blæk]	b · la · ck ブ・ラ(ツ)・ク	<b>黒い (形容詞), 黒 (名詞)</b>
<b>blue</b> [blu:]	b · lue ブ・ルー	<b>青い (形容詞), 青 (名詞)</b>
<b>book</b> [buk]	boo · k ブ(ツ)・ク	<b>本 (名詞)</b> 


<p><b>born</b> [bɔ:rn]</p> <p>bor・n ボ-<sup>(ア)</sup>・ン</p>	<p><b>bear の過去分詞</b></p> <p>動詞<sup>ベア</sup>bear[bear]の意味は「産む」。「be bornで<sup>じゅどうたい</sup>受動態(中3で出てきます)」というのが本来の姿。</p> <p>ただし、be bornで「生まれる」と熟語扱いされるケースが多く、born単独で「生まれた」という状態を表す形容詞のようなもの。</p>
<p><i>be born</i></p> <p>be born である 生まれた状態</p>	<p>「生まれる」</p> <p>bornの解説を参照。</p>
<p><b>bought</b> [bɔ:t]</p> <p>bough・t ボ-・トゥ</p>	<p><b>buy の過去形 (動詞)「買った」</b></p> <p><b>buy の過去分詞</b></p>
<p><b>boy</b> [bɔi]</p> <p>boy ボイ</p>	<p>男の子, 少年 (名詞)</p> 
<p><b>break</b> [breik]</p> <p>b・rea・k ブ・レイ・ク</p>	<p><sup>こわ</sup><b>壊す・壊れる (動詞)</b></p> <p>breakしたのが arm(腕)だったら、「折る」と訳されるが、<b>意味がせますぎることは明らか。</b></p> <p>break the windowで「窓を折る」なんて言うわけがない!</p>
<p><b>bright</b> [brait]</p> <p>b・righ・t ブ・ライ・トゥ</p>	<p><b>明るい,輝いている状態(形容詞)</b></p>

<b>bring</b> [brɪŋ]	b · ri · ng ブ・リ・ング	持ってくる・連れてくる（動詞）
<b>broke</b> [brɒk]	b · ro · ke ブ・ロウ・ク	<b>break</b> の過去形（動詞） 壊した・壊れた
<b>brought</b> [brɔ:t]	b · rough · t ブ・ロー・トゥ	<b>bring</b> の過去形（動詞） 「持ってきた, 連れてきた」 <b>bring</b> の過去分詞
<b>Brown</b> [braʊn]	B · row · n ブ・ラウ・ン	ブラウン（名詞）名字
<b>build</b> [bɪld]	bui · l · d ビ・る・ドゥ	建てる（動詞）
<b>building</b> [ˈbɪldɪŋ]	bui · l · di · ng ビ・る・ディ・ング	建物, ビル（名詞）
<b>buy</b> [baɪ]	buy バイ	買う（動詞）

# C・c

<p><i>call to ~</i></p> <p>call to ~ 呼びかける ~へ</p>	<p>✓にある通り。単語の意味だけで十分なのに、<b>なぜ熟語扱いするのか!?</b> くれぐれも「セットで覚えよう」としないように。時間のムダ。</p>
<p><b>care</b> care [keəɹ] ケア(ア)</p> 	<p><b>注意</b> (名詞) が元の意味。 <b>気にする・気になる</b> (動詞) モアリ</p> <p>注意の内容が気がかりなことだったら「心配」、注意して何かをしてあげれば「世話」などの意味になる。</p>
<p><i>Take care.</i></p> <p>Take care. 取れ 注意を。</p>	<p>「おだいじに」</p> <p>ふつうは のように訳されるが、<b>全然違う!</b> この場合、「(病気に対する)注意を取れ」と言っているのだ。英語では、注意は「する」のではなく「取る」もの。</p>
<p><i>take care of ~</i></p> <p>take care of ~. 取る 注意を ~の (世話)</p>	<p>「~の世話をする」</p> <p>英語では、注意(世話)は「する」のではなく「取る」もの。</p>

<b>carefully</b> [kɛərfəli]	<b>care · fu · lly</b> ケア(ア)・ファ・リ	<b>注意深く (副詞)</b>
<b>catch</b> [kætʃ]	<b>ca · tch</b> ケア(ツ)・チュ	<b>と捕らえる, つかまえる (動詞)</b>
<b>caught</b> [kɔ:t]	<b>caugh · t</b> コー・トゥ	<b>catch の過去形 (動詞)</b> 「捕らえた, つかまえた」 <b>catch の過去分詞</b>
<b>chain</b> [tʃeɪn]	<b>chei · n</b> チェイ・ン	<small>くさり</small> <b>鎖 (名詞)</b>
<b>character</b> [kæriktər]  <b>cha · ra · c · ter</b> ケア・リ・ク・タ(ア)		<b>特徴, 特性 (名詞)</b> が元の意味  個々のモノなら「個性」, 生き物なら「性格」, 物事なら「 <small>ひょうはん</small> 評判」など, 幅広く用いられる。  <small>げき</small> 劇中では, <b>特徴ある個性</b> を <small>はつき</small> 発揮することから, 「登場人物」という意味になる。
<b>cherry</b> [tʃəri]	<b>che · rry</b> チェ・リ	<small>さくら</small> <b>桜 (名詞)</b> 
<b>child</b> [tʃaɪld]	<b>chi · l · d</b> チャイ・る・ドウ	<b>子ども (名詞)</b>
<b>children</b> [tʃɪldrən]  <b>chi · l · d · re · n</b> チ・る・ドウ・ラン		<b>child の複数形 (名詞)</b>  <b>子どもたち</b>

<b>China</b> [tʃaɪnə]	<b>Chi・na</b> チャイ・ナ	中国（名詞）
<b>choose</b> [tʃu:z]	choo・se チュー・ズ	選ぶ（動詞）
<b>church</b> [tʃɜ:rtʃ]	chur・ch チャ～(ア)・チュ	教会（名詞） 
<b>clean</b> [kli:n]	c・lea・n ク・リー・ン	きれいにする（動詞） きれいな（形容詞）もアリ。 「そうじする」では意味がせまい。
<b>club</b> [klʌb]	c・lu・b ク・ら・ブ	クラブ，部（名詞）
<b>college</b> [kálɪdʒ]	co・lle・ge カ・リ(ツ)・チュ	大学（名詞）
<b>color</b> [káləɾ]	co・lor カ・ら(ア)	色（名詞）

<p><b>come on</b></p> <p>come on 来る 続けて</p>	<p>「やって来る」</p> <p>「さあ，急げ」などとマヌケな意味が載っている書物があるが，全然違う！</p> <p>この場合，on は副詞。動作の継続を表す。「come という動作を続ける」という感じ。</p>
---	---

<p><b>comic</b> [kámik]</p> <p>co · mi · c カ・ミ(ツ)・ク</p>	<p>コミック (名詞)</p> <p>新聞・雑誌に載っている、<sup>ごらく</sup>娯楽性の高いマンガ。元は「こっけいな」という意味の形容詞。</p>
<p><b>communicate</b> [kəmjú:nikeit]</p> <p>co · mmu · ni · ca · te カ・ミュー・ニ・ケイ・トゥ</p>	<p>意志伝達する (動詞)</p> <p>コミュニケーションをとる</p>
<p><b>communication</b> [kəmjú:nikeíʃn]</p> <p>co · mmu · ni · ca · tio · n カ・ミュー・ニ・ケイ・シュン</p>	<p>意志伝達 (名詞)</p> <p>コミュニケーション</p>
<p><b>compare</b> [kəmpéər]</p> <p>co · m · pare カ・ム・ペア(ア)</p>	<p>比較する (動詞)</p>
<p><b>complain</b> [kəmpléin]</p> <p>co · m · p · lai · n カ・ム・プ・れイ・ン</p>	<p>不平を言う (動詞)</p> <p>不満を言う</p>
<p><b>cool</b> [ku:l]</p> <p>coo · l クー・ル</p>	<p>すず<sup>ず</sup>涼しい, つめ<sup>つめ</sup>冷たい (形容詞)</p>

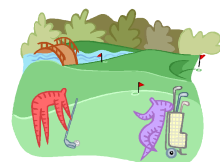
cool の「冷たい」は, モノが, 適度に冷たい。  
態度が冷たい(適度に冷淡な, 冷静な)

cold の「冷たい」は, モノが, 適温を超えて冷たい。  
態度が cool より冷たい(かなり冷淡な, 冷酷な)



<p><b>could</b> [kud]</p> <p>cou · ld ク(ツ) · ドウ</p>	<p>can の過去形 (助動詞)</p> <p>「(~する)ことができた」</p> <p>ただし, 会話中での助動詞の過去形は「ていねいな表現」として用いられる。</p>
<p><i>Could you ~ ?</i></p> <p>Could you ? ことができる(ていねい) あなたは</p>	<p>「~してくれますか」</p> <p>「~することができますでしょうか?」 という感じ。可能かどうかをていねいにたずねることで, 頼む表現になる。</p>
<p><b>couldn't</b> [kudnt]</p> <p>coul · d · n' · t ク(ツ) · ドウ · ン · トウ</p>	<p>could not の短縮形 (助動詞)</p> <p>「(~する)ができなかった」</p>

<p><b>course</b> [kɔ:rs]</p> <p>cour · se コー(ア) · ス</p> 	<p><b>コース</b> (名詞)</p> <p>「進むべき, 決められた道筋<sup>みちすじ</sup>」が元の意味。</p> <p>「コース」で日本語になっているが, 乗り物の針路<sup>しんろ</sup>, 塾などの「コース」, フランス料理の「コース」, スポーツ(トラック競技やゴルフ)の「コース」等, 非常に幅広く使われる。</p>
---	---



<p><b><i>Of course.</i></b> [ɒf kɔːrs]</p> <p>アフ Of course. ～の コース</p>	<p>「もちろん」</p> <p>発音に注意。</p> <p>くわしくは下の解説を。</p>
--	--

なぜ、of courseで「もちろん」という意味になるのか？ チョット難しい説明になります。

ふつう、「 of 」で「 の 」となるが、「 に含まれる一部としての 」というのが、ofのオリジナルの意味(ただし、この場合「 」にあたる語がない)。

相手の言っていること・やっていることが、course(進むべき、決められた道筋)に含まれているので、その通りに事が運んでいる 「当然のコース」 「もちろん」と変化したと考えよう。

<p><b>cry</b> [krai]</p> <p>c・ry ク・ライ</p>	<p>泣く, 叫ぶ(動詞)</p>
<p><b>cute</b> [kju:t]</p> <p>cu・te キュー・トゥ</p>	<p>かわいらしい(形容詞)</p> <p>下の3つは大ざっぱに、次のように。 beautiful・・・美しい pretty・・・きれいな cute・・・かわいい</p>

無料ダウンロード版はココまでです。  
続きは有料版をごらんください。